

リカバリ作成ツールダウンロード/作成方法について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は東芝製 PC に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、弊社 dynabook R733/734 シリーズにおいて、インストール済アプリケーションである「TOSHIBA Recovery Media Creator」の起動時にエラーが生じる不具合が発生いたしました。ご購入いただきました組合員様には多大なご迷惑をおかけしお詫び申し上げます。大変ご迷惑おかけいたしますが、修正モジュールをご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

本書では、リカバリ作成ツールダウンロード方法/作成手順について説明します。

パソコンにトラブルが発生したときに、パソコンを購入時の状態（初期状態）に戻すことを「リカバリー」といいます。本製品のハードディスクドライブには、システムやアプリケーションを購入時の状態に戻すためのリカバリーツールが搭載されています。

しかし、トラブルの原因によっては肝心のリカバリーツールを起動できないおそれもあります。

このような場合に備え、あらかじめリカバリーツールを DVD などの記録メディアにコピーしておくこと(リカバリーメディアの作成)をおすすめします。

ハードディスクドライブからリカバリーができない場合でも、リカバリーメディアからリカバリーができます。

リカバリーメディアの作成は、「TOSHIBA Recovery Media Creator」で行ないます。作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。

*購入後に作成したデータ、設定、インストールしたアプリケーションなどはこちらの手順では、バックアップできません。システムのバックアップにつきましては、下記をご参照ください。

<http://www.toshiba-tie.co.jp/hardware/bspc/support.pdf>

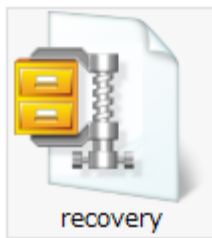
ダウンロード方法

1. 下記サイトへアクセスし、「TOSHIBA Recovery System 修正モジュール」ダウンロードページをクリック。

<http://www.toshiba-tie.co.jp/hardware/recovery/index.html>

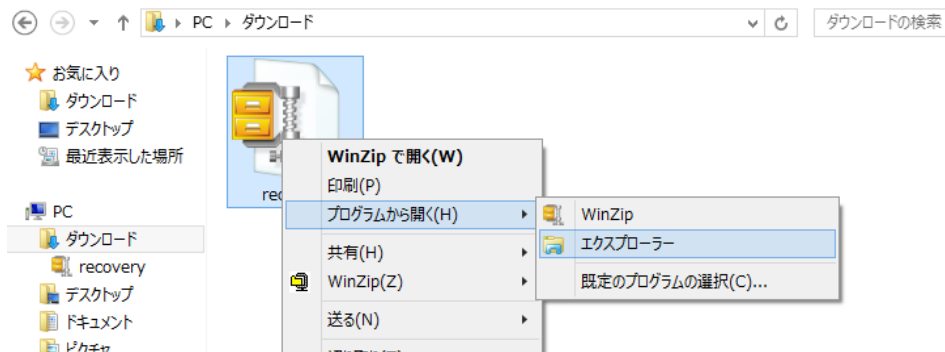
The screenshot shows the Toshiba website's hardware section. The navigation bar includes links for Home, Hardware, Peripherals/Software, Solutions, Support, and New Arrivals. The main content area is titled 'ハードウェア' (Hardware) and features several product highlights. At the bottom, a red circle highlights the link: '(株)東芝Webサイトのデータプロジェクトサポート、保守用交換ランプ情報ページ' and 'TOSHIBA Recovery System修正モジュールダウンロードページ'.

1. 修正ツール「recovery.zip」をダウンロードし、展開(解凍)します。

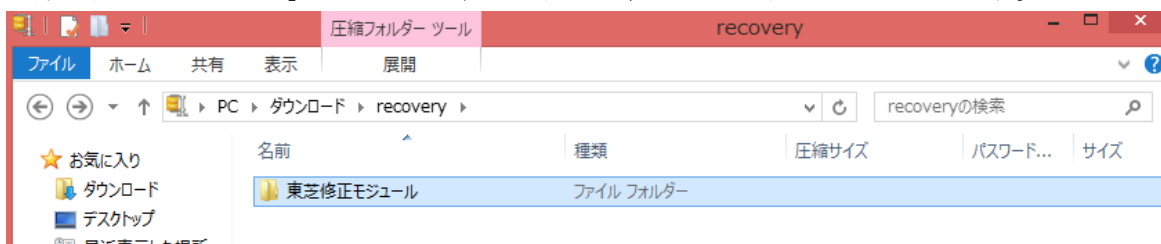


○展開(解凍)手順

ファイルを右クリックして「プログラムから開く」を選択し、「エクスプローラー」をクリック。



- 下記の通り「東芝修正モジュール」ファイルが出てくるのでダブルクリックし、「東芝修正モジュール」を選択して右クリックし、デスクトップへコピーします。



デスクトップへコピーすると「東芝修正モジュール.exe」というファイルが出てきます。



2. 「東芝修正モジュール.exe」を実行すると以下の画面が出てくるので「実行」を選択します。
(出てきた場合のみ)



3. 「開始」を選択します。



※ユーザーアカウント制御が許可を求めてきたときは「はい」を選択します。

4. 以下の表示が出れば処理完了ですので、「OK」を押してください



以上で、修正モジュール適用が完了です。

操作方法

リカバリーメディアに使用できる記録メディア

「TOSHIBA Recovery Media Creator」では、次の記録メディアのいずれかを使用できます。何もデータが書き込まれていないものを用意してください。

- ・ USB フラッシュメモリ

※ USB フラッシュメモリでリカバリーメディアを作成する場合は、<http://dynabook.com/assistpc/faq/pcdata2/014641.htm> を参照してください。

- ・ 記録用の DVD メディア (DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD+R、DVD+R DL、DVD+RW)

DVD の場合、リカバリーメディアの作成に必要な枚数が「TOSHIBA Recovery Media Creator」画面に表示されます(手順 6 参照)。

複数枚使用するときは、同じ規格の記録メディアで統一してください。

【お願い DVD について/DVD の使用推奨メーカー】

- ・ 推奨するメーカーの DVD を使用してください。規格に準拠した DVD を使用してください。

※使用できる DVD 記録メディアについては、<http://dynabook.com/assistpc/faq/pcdata2/014519.htm> を参照してください。

操作手順

【お願い リカバリーメディアの作成にあたって】

- ・「TOSHIBA Recovery Media Creator」では DVD-RAM およびブルーレイディスクを使用できません。
- ・「TOSHIBA Recovery Media Creator」を使ってリカバリーメディアを作成するときは、ほかのアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行なってください。

また、電源コードと AC アダプターを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続した状態で作成してください。本製品の省電力能力が働かないようにしてください。電源 OFF/スリープ/休止状態/再起動を実行しないでください。

- ・あらかじめ、DVD 使用上のご注意については、「パソコンで見るマニュアル」の「活用編 付録」を参照してください。

下記内容は、<http://dynabook.com/assistpc/faq/pcdata2/014643.htm> でも掲載されております。

■操作手順

※本手順は、例として DVD-R のリカバリーメディアを作成します。

1. スタート画面の何もない部分をマウスの右ボタンでクリックし、画面右下に表示される [すべてのアプリ] をクリックします。



2. "アプリ" 一覧が表示されます。"TOSHIBA" の [リカバリメディア作成ツール] をクリックします。

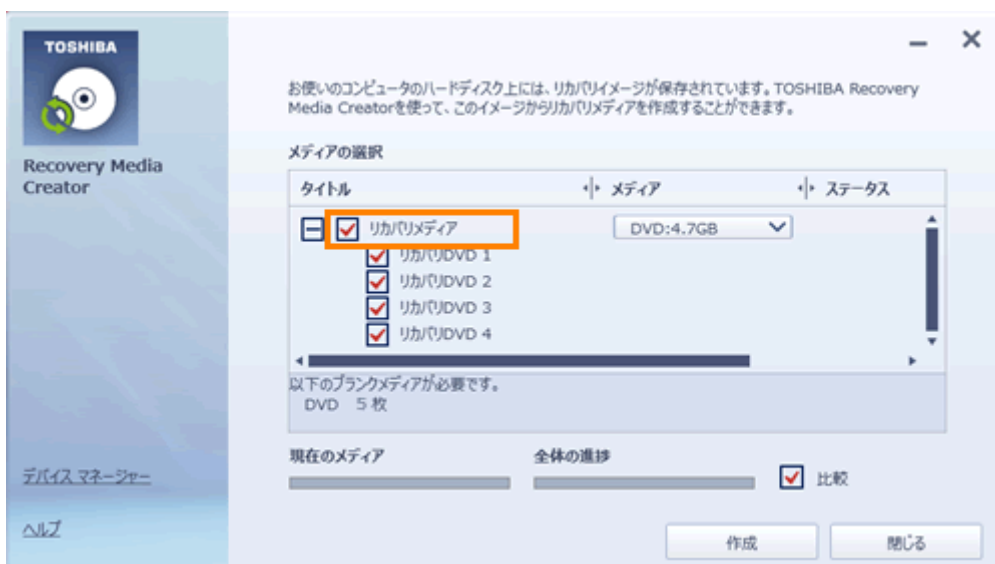


- 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。[はい(Y)] ボタンをクリックします。
- 「TOSHIBA Recovery Media Creator」が起動します。
”メディア”項目の [v] ボタンをクリックし、[DVD：4.7GB] または [DVD：8.5GB] のどちらかをクリックして選択します。
※ここでは、[DVD：4.7GB] を選択しています。



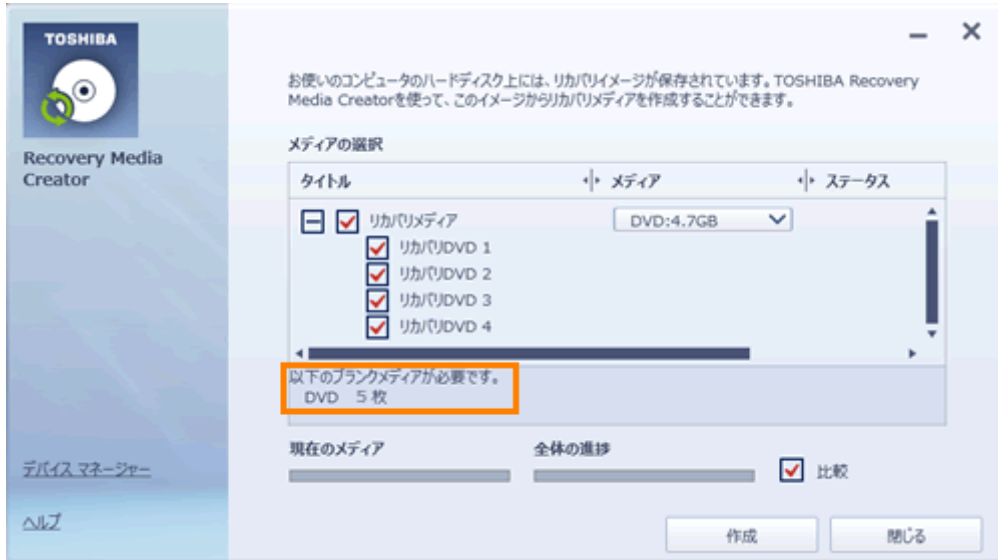
(図 3)

- ”タイトル”項目の [リカバリメディア] にチェックが付いていることを確認します。
※作成する必要のないリカバリーメディアがある場合は、リカバリーメディアの一覧からチェックをはずしてください。



(図 4)

6. ”以下のブランクメディアが必要です。DVD X 枚” メッセージが表示されます。同じ規格のメディアを表示された枚数用意し、[作成] ボタンをクリックします。
※X には数字が入ります。



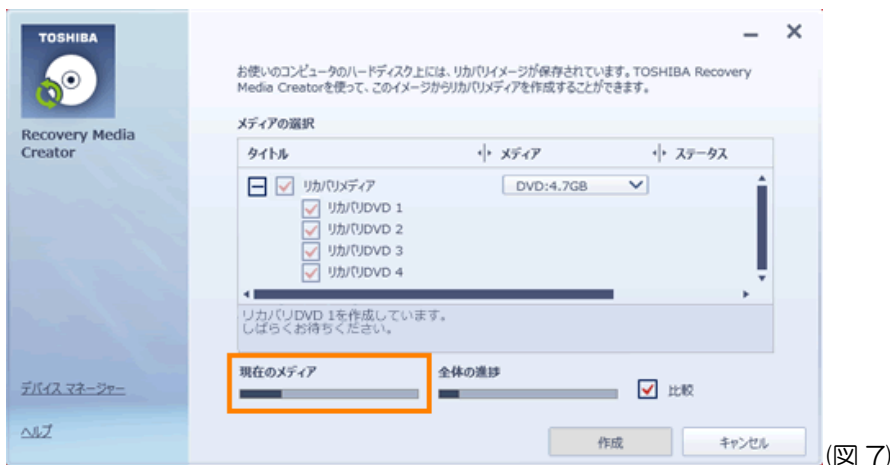
(図 5)

7. ”リカバリ DVD1 を作成します。以下のブランクメディアを入れてください。・・・” メッセージ画面が表示されます。
記録メディア(DVD-R)をセットし [OK] ボタンをクリックします。



(図 6)

8. 作成が開始され、”現在のメディア” に作成しているリカバリーメディアの進捗状況が表示されます。
※作成を途中で中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

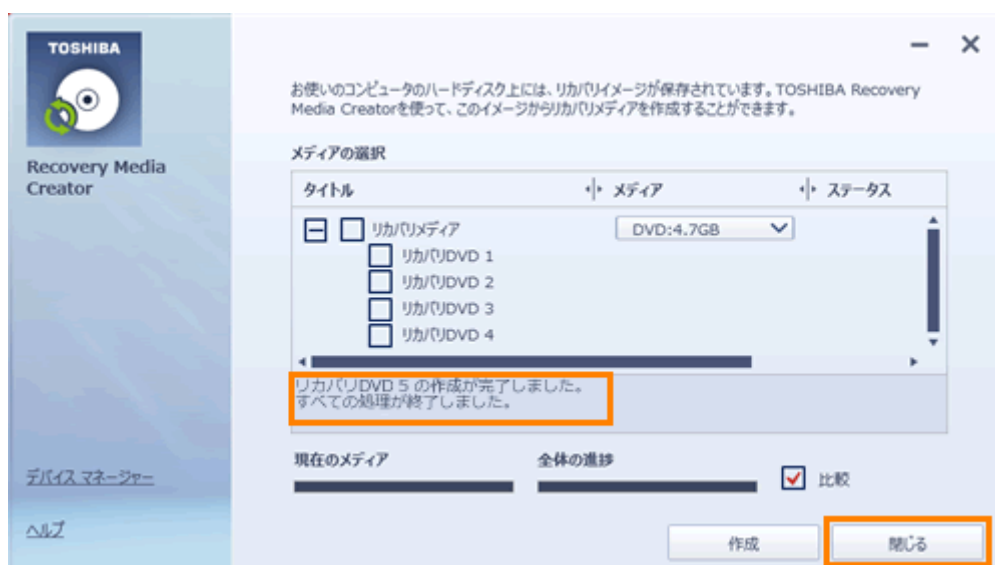


(図 7)

9. ”リカバリ DVD1 の作成が完了しました。・・・続いて、リカバリ DVD2 を作成します。・・・”メッセージ画面が表示され、自動的にディスクトレイが開きます。空の記録メディア(DVD-R)に入れ替えて [OK] ボタンをクリックします。
- ※作成するメディアが複数枚ある場合は、メッセージに従って空の記録メディアを順番に入れ替えてください。
- ※作成したリカバリーメディアには、次のことがわかるように目印を付けてください。
- ・「リカバリーメディア」であること
 - ・複数枚ある場合は、番号
- たとえば、「リカバリーメディア X(番号)」というように、レーベル面に油性のフェルトペンなどで記載してください。リカバリーをするとき、この番号の順にリカバリーメディアを使用しないと、正しくリカバリーされません。必ずリカバリーメディア番号がわかるようにして保管してください。
10. ”すべての処理が終了しました。”メッセージ画面が表示され、自動的にディスクトレイが開きます。DVD を取り出し、 [OK] ボタンをクリックします。



11. 「TOSHIBA Recovery Media Creator」画面に戻ります。”リカバリ DVD5 の作成が完了しました。すべての処理が終了しました。”メッセージが表示されていることを確認し、 [閉じる] ボタンをクリックします。



DVD でリカバリーメディアを作成する方法は以上です。
作成したリカバリーメディアは大切に保管してください。